

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	平塚市宝町プロジェクト新築工事	階数	地上11F
建設地	神奈川県平塚市宝町四丁目 -3,-4,-5,-6,-18,-22,-23,-24	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	185 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2023年5月9日
敷地面積	947 m ²	作成者	大東建設株式会社東京第一営業部一級建築士事務所
建築面積	607 m ²	確認日	2023年5月9日
延床面積	5,845 m ²	確認者	大東建設株式会社東京第一営業部一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	・特になし	その他 ・特になし
Q1 室内環境	・F☆☆☆☆建材を積極的に採用し、室内の空気質環境に配慮した	Q2 サービス性能 ・二重天井やCD管を採用し、配線の更新性に配慮した
Q3 室外環境(敷地内)	・防犯カメラを設置し防犯性に配慮した	LR1 エネルギー ・LED照明を採用し、省エネに努めた ・断熱性能は等級4を満たす仕様とし、断熱性に配慮した
LR2 資源・マテリアル	・解体廃棄時におけるリサイクルの促進として、ユニット部材(置床)を採用した	LR3 敷地外環境 ・十分な駐輪場を設け、地域インフラへの負荷抑制に努めた

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される